

森林環境保全の推進（継続）  
（森林資源の保護）  
＜森林・林業・木材産業づくり交付金＞

【平成21年度予算額 13,222,122（9,691,997）千円の内数】

事業のポイント

適切な森林保全管理を継続的に図り、林野火災等各種森林被害を未然防止又は早期発見し、森林環境の保全を図ります。

（森林保全の状況）

- ・ 林野火災は1年間に約2,300件発生し、焼損面積は約1,300ha（H14～H18の平均）。
- ・ 近年の林野火災の動向については、短周期で増減を繰り返しながら長期的には減少傾向で推移。
- ・ 全国の松くい虫被害量は、昭和54年度の243万m<sup>3</sup>をピークに減少傾向で推移。
- ・ 野生鳥獣による被害については、近年、生息域の拡大等を背景に新たな地域で発生。
- ・ 平成18年度現在、地域における保全管理活動の中心となって行う森林保全推進員は2,192人配置、森林保全推進員への巡視指導に当たる森林保全巡視指導員は863人配置。

政策目標

保全すべき松林が適切に保全されていると認められる都府県の割合100%  
（森林病虫害等の被害の防止）

＜内容＞

1．森林保全管理体制整備

地域の関係者による協議会の開催、地域における森林保全管理活動の中心となる森林保全推進員の養成等、地域の自主的な森林保全管理活動の支援体制整備を総合的に実施します。

2．林野火災予防対策

林野火災予防体制の強化、地域住民等に対する林野火災防止意識の啓発、林野火災予防情報システムの整備等を推進します。

＜交付率＞

定額（1/2）

＜事業実施主体＞

都道府県、市町村

＜事業実施期間＞

平成20年度～24年度（5年間）

[担当課：林野庁研究・保全課]